学生プロジェクトデザインコンペティション2025

応募ガイド

作品提出締切日	2025年9月20日(土)

JMA HEAD Home & Environment Advanced Design

2025年テーマ

テーマは『**日常に風景をつくる**』です。

そのプロジェクトがどう社会や地域と繋がるのかを明確に示してください。

テーマに沿ったプロジェクトであれば応募可能です。

（※実施を前提としていないアイデアでも結構です。対象とする地域の規模や場所、応募者との関係性など問いません。また、特定の地域を前提としていなくても結構です。）

参考として下記のようなキーワードが考えられます。

「リノベーション、コンバージョン」「モノづくり」「コミュニティづくり」「空き家再生」「社会実験」「インスタレーション」「スマートモビリティ」「サスティナビリティー」など

賞

最優秀賞　1点	15万円
審査員賞　6点	3万円
ジャパンホームショー＆ビルディングショー2025 会場内投票賞　1点	1万円

2025年審査員のご紹介

法人格・敬称略

家成 俊勝
dot architects
京都芸術大学 教授

庵原 義隆
一級建築士事務所
YY architects
主宰

勝亦 優祐
勝亦丸山建築計画
代表

神本 豊秋
再生建築研究所
代表取締役

田島 則行
千葉工業大学 教授
テレデザイン 代表

山本 想太郎
山本想太郎設計
アトリエ 代表
HEAD研究会
副理事長

開催趣旨

概要

本コンペは、一般社団法人日本能率協会・一般社団法人HEAD研究会が主催し、「Japan Home Show ＆ Building Show (ジャパンホームショー&ビルディングショー)」の公式アワードとして2022年から開催している、学生によるプロジェクトデザインのアイデアを競うコンペティションです。

プロジェクトデザインとは

社会問題に対して、前提条件からデザインを行い、問題解決を行うことです。どの地域でどんな人を巻き込んだら何ができるのか等、問題提起から敷地、用途、運営主体まで自ら設定し、それらの条件をデザインで解決するトータルデザイン手法です。

※「Japan Home Show ＆ Building Show（ジャパンホームショー ＆ ビルディングショー） 」について
今年で47年目を迎える日本最大級の建築総合展示会です。毎年11月にビッグサイトで開催しています。
建材・住設・ソフト等建築に関わる企業が多数出展し、ハウスメーカー、ゼネコン、デベロッパー、設計事務所、工務店、リフォーム会社等建築のプロが多数来場します。

趣旨

本コンペは、学生によるプロジェクトアイデアを一堂に集め、公開審査を通じて競い合う場です。
そして、　建築業界の専門家が集う展示会場を、学生の皆さんの活動発信の拠点とすることで、企業と学生の新たなつながりを創造します。
そこで、企業と学生との新たなつながりをつくり、企業と学生でプロジェクトを協働して進めることまでを視野に入れ、そのための縁を創る「創縁の場」になることを期待します。

応募資格

- **大学生、大学院生、短期大学生、専門学校生のいずれかであること** ※個人・団体は問いません
- **街づくり、地域創生、建築に興味があること**

1次審査に通過した場合、
プロジェクト代表者は以下の両方のイベントへのリアル参加が可能であることが条件です。

10月28日：最終公開審査会でのプレゼン発表
11月20日：ジャパンホームショー＆ビルディングショー2025内の
受賞者×審査員のクロストークでのプレゼン発表

※複数のプロジェクトを応募する場合について
同じグループでの複数の応募、同じ代表者での複数の応募、または同一人物が複数の応募グループに参加することはすべて問題ありません。
ただし、複数の応募案がある場合は、それぞれの応募案に対してWEBエントリーも個別に行うことをお願いします。

提出物

①プレゼンシート：PDF(推奨)またはJPEG形式（10MB以下／300dpi以上）

A1サイズ片面縦使い1枚
プレゼンシートの右下に、15ポイント以上の文字サイズで、団体名、代表者の連絡先（メールアドレス、電話番号やHP、InstagramのQRコードなど）を表記すること。

締切 2025年9月20日（土）

②展示会「ジャパンホームショー＆ビルディングショー2025」会場内投票用プレゼンボード

1次通過者および入選者、応募者ご自身で展示用パネルを作成・提出していただきます。
※②を提出頂いた方のみ会場投票賞の審査の対象となります。
プレゼンシートをスチレンボード等に貼り、パネル化したもの（5mm厚）。A1サイズ片面縦使い1枚。

締切

郵送の場合	2025年11月17日（月）午前中（必着）
持込の場合	2025年11月17日（月）11:00～16:00

宛先

〒135-0063
東京都江東区有明3-11-1
東京ビッグサイト西展示場
ジャパンホームショー＆ビルディングショー
主催者事務室　宛て

応募方法

下記フォームからご応募ください
応募はこちら

https://school.jma.or.jp/s/NiaCN

コンペの流れ／審査

作品提出締切	2025年9月20日（土）必着
1次審査 （書類選考）	2025年9月下旬～10月上旬 ※1次審査の結果は通過者に通知すると共に、 コンペサイトにて発表します。
2次審査・表彰式 （公開審査）	2025年10月28日（火） 場所：調整中 1次審査通過作品による公開審査を行います。
会場投票賞受付期間	2025年11月19日（水）-20日（木）
受賞者発表	2025年11月20日（木）

その他／個人情報の取り扱いについて

応募規定

1.著作権は応募者に帰属しますが、大会当日に配布するパンフレット、本コンペの終了後に発行するアーカイブへの掲載、SNSへの投稿や、入賞作品を発表する等の広報活動を行う場合、応募作品の著作権を主催者は使用できるものとします。
作品に掲載する写真やイラスト等は著作権・肖像権を十分に考慮し、自分で撮影・作成したもの等を利用してください。入賞後にそれらの侵害やその他の疑義が発覚した場合は、すべて応募者の責任となります。また、そのような場合は主催者の判断により入賞を取り消すことがあります。
2.主催者が大会の宣伝・アーカイブ等のために応募作品・模型等の写真を撮影させていただき、各種コンペならびに展示会関連の媒体等に掲載する場合があります。
3.応募者は、応募作品の一部あるいは全部が第三者の権利（知的財産権や著作権等）を侵害しないことを確認した上で、応募作品を提出するものとします。
特に雑誌、書籍、WEB等の著作物から無断複写した画像等は使用を禁じます。尚、第三者から応募作品について権利侵害、損害賠償等の苦情・クレームがあった場合は、全て応募者自らの責任と費用負担で解決するものとし、当社は一切の責任と負担を負わないものとします。
4.コンペティションの応募条件・審査方法・日程等は、社会環境・災害等の影響で変更する可能性があります。
変更の場合は、当サイトにて更新情報を配信いたします。
5.提出頂いたプレゼンボードは返却いたしません。
6.作品提出後の変更・修正は一切できません。
7.最終審査会及び会場投票賞審査時の模型の持ち込みは、公共交通機関を使い審査会場に直接手持ちで持参できる場合に限り許可します。
8.最終審査会場までの交通費は各自負担にてお願いいたします。また、宿泊が必要な場合も各自負担にてお願いします。
9.本コンペにより応募者に生じた一切のトラブル・損害（直接・間接を問わず）等について、如何なる責任も負いかねます。
10.運営に関するお問合せは、学生プロジェクトデザインコンペティション事務局（jhbs@jma.or.jp)宛てにご連絡ください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報は、応募登録および審査に利用し、他の目的に使用することはありません。
尚、受賞作品および応募者の情報は公式HP・SNS・報道関係への発表等で掲載する場合がございます。

2024受賞作品

法人格・敬称略

最優秀賞

建築屋台

代表者 慶應義塾大学
榎本 雄高さん

プロジェクトコンセプト

ユーザー、住民参加型での建築・空間作り（設計～施工）で生まれるコミュニティに注目し、参加型建築作りをより多くの人々に体験してもらい、広げていくために必要なツールとしての屋台と、その仕組み作りを行いました。

ゲスト審査員　佐竹 雄太 賞

日常の死角に夢を見る。

代表者 工学院大学大学院
中川 優奈さん

プロジェクトコンセプト

再開発等でどの都市も一様になりつつある現状に疑問や違和感、生きづらさなどいろいろな感情を感じています。疲れ切ってトイレにこもってしまった私。似たような毎日を過ごすダレカ。そんな現代を生きる私たちが、まちで、都市で、のびのびと生きれるような居場所を卒業設計で計画した5つをプロトタイプに散りばめます。私とあなたとが考えるアジールが都市に散りばめられた【ニュー・シティスケープ】を思い描いて。

ゲスト審査員　田島 則行 賞

団地の中に　小さな図書室　つくりました

代表者 名城大学 谷田研究室
和田 明花さん

プロジェクトコンセプト

築30年を超える団地の一室にまるで秘密基地のような、建築学生たちが営む子育て支援スペース『一つ山絵本サロン105』を開く。玄関扉を開くと木の飾り棚が廊下から居間へ連なり、図書館の絵本180冊が並ぶ。学生が住民と関わりながら、団地の課題や魅力を分析し、団地の可能性を発信していく。

ゲスト審査員　宮崎 晃吉 賞

オダプロジェクト
-コンテナ仮設団地における「集いの場」のデザイン-

代表者 九州大学
ダーオールアイシェニハンさん

プロジェクトコンセプト

2月の地震で深刻な被害を受けたトルコの仮設住宅で、木造フレーム構造の温かみのある集会所を設計し、コミュニティの絆を深めるプロジェクトを立ち上げました。日本とトルコの建築要素を取り入れ、住民が気軽に集まれる場所を提供し、コンテナハウスの生活を少しでも快適にすることを目指しています。

プロジェクトメンバー

仮屋翔平さん、マテウスコルデイロさん、塘口慧さん

ゲスト審査員　連 勇太朗 賞

Enoniwa
-知的障がい者と私たちがお絵描き友達になれる場のデザイン-

代表者 東京理科大学大学院
北林 栞さん

プロジェクトコンセプト

“障害者”として認識した途端、障害へ意識が向いてしまいませんか？「絵を描くこと」をきっかけに知り合うことで、よりフラットな関係が築けると考えました。Enoniwaは絵によるコミュニケーションに着目し、知的障がい者と私たちが間接的に関わることができる場をデザインします。

プロジェクトメンバー

吉田 雄太さん、品田 十夢さん、竹原 佑輔さん、城田 茂久さん

ゲスト審査員　山本 想太郎 賞

継承×更新
–急斜面地密集集落における古民家再生手法–

代表者 工学院大学大学院
久保 桜子さん

プロジェクトコンセプト

民家がすり鉢状に並ぶこの集落は、数多の災害に見舞われながらその機能や形態を変化させてきた。
建築学生が基点となり、集落空き家に眠るかつての記憶の『継承』と新たな居場所の『更新』を行う。

プロジェクトメンバー

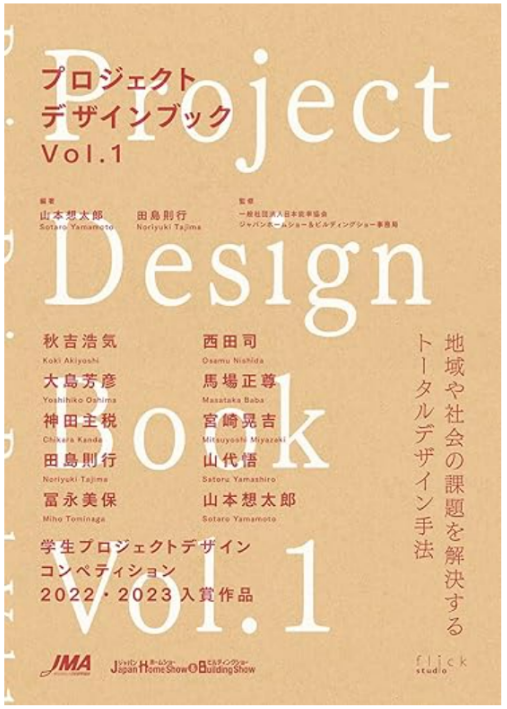
淺野 祐太さん、佐藤 慧さん、住田 亮真さん、中村 乃海さん、IOSHII CAROLINA MIDORIさん

2022年 2023年受賞作品

2022年2023年受賞作品をまとめた書籍を2024年11月20日に出版しました。

Amazon等でご購入頂けます

本 › アート・建築・デザイン



プロジェクトデザインブック Vol.1 単行本 – 2024/11/20

山本想太郎 (著), 田島則行 (著), 一般社団法人日本能率協会 (監修), & 2 その他

すべての形式と版を表示

地域や社会の課題を解決する「プロジェクトデザイン」の今とこれから 「モノ」としての建築だけでなく、地域や社会の課題を解決するための「コト」まで、さまざまな関係者と対話しながら総合的にデザインする手法「プロジェクトデザイン」。建築関連製品の展示会「ジャパンホームショー＆ビルディングショー」では、2022年度より、学生によるプロジェクトデザインのアイディアコンペ「学生プロジェクトデザインコンペティション」を開催しています。 本書の前半では、このコンペティションの歴代審査員を中心とした建築家10組が登場し、実際に手掛けたプロジェクトデザイン事例を解説。後半では2022・2023年度のコンペティションで入賞した12作品を掲載しています。 全国のさまざまな地域やコミュニティが課題を抱えている現在、建築家や学生たちはそうした課題にどのように向き合い、解決しようとしているのか。実際の事例やアイディアを通して、プロジェクトデザインの今とこれからを紹介します。

この商品に関する問題を報告する

本の長さ	言語	出版社	発売日	寸法
176ページ	日本語	フリックスタジオ	2024/11/20	1.9 x 18.2 x 25.7 cm

過去開催時の審査員のご紹介

法人格・敬称略　50音順

秋吉 浩気
VUILD
代表取締役

大島 芳彦
ブルースタジオ
専務取締役・
クリエイティブディレクター

神田 主税
エコッツェリア協会
3×3 Lab Future 館長
三菱地所
エリアマネジメント企画部
マネージャー

佐竹 雄太
アラウンドアーキテクチャー 代表
建築メディエイター

田島 則行
千葉工業大学 テレデザイン
准教授/代表

冨永 美保
トミトアーキテクチャ
代表

西田 司
オンデザイン
東京理科大学 准教授

馬場 正尊
オープン・エー 代表取締役
建築家
東北芸術工科大学 教授

宮崎 晃吉
HAGISO
代表取締役

連 勇太朗
CHAr 代表理事
@カマタ 取締役
明治大学 専任講師

山本 想太郎
山本想太郎設計アトリエ 代表
HEAD研究会 副理事長